

つきましては、消防委員会の訓練について、実際に迎える見込
んで、受け付け、消防団に、人数が少く、整備等の
に、事が必要、と、それと、ある、その、二、か、り、充足する
にあたり、まず、は、まず、消防団の、防火、対象、物、事、整備す
る、関係、も、あり、する、ので、基礎的、な、仕事、に、要、求、と、す、し
、訓練、に、言い、訳、け、か、す、し、い、二、と、を、い、う、や、う、は、ん、で、す、か
、と、い、う、は、か、つ、た、ゆ、け、る、こ、う、い、ま、す、。と、二、と、当、時、か、り
や、さ、め、り、ま、し、た、こ、と、を、ゆ、い、あ、げ、ま、す、と、主、と、と、す、て、防
運動、あ、る、い、は、その、他、か、の、い、う、報、告、に、は、予、防、好、東、の、因、地、を
取り、あ、げ、る、。は、民、の、防火、思想、普、報、の、徹底、を、は、か、る、こ、う
に、ゆ、け、る、こ、う、い、ま、す、。は、お、同、質、板、あ、る、い、は、各、家、庭、に、
お、取、手、テ、ラ、シ、的、な、火、の、を、配、る、ア、ド、ン、と、ゆ、り、ま、し、た、か
、本、手、に、お、き、ま、す、も、予、算、案、の、関係、も、あ、り、ま、す、の、で、
同、質、板、形、式、の、ゆ、き、あ、る、ア、ド、ン、と、い、ま、す、。、
と、い、う、か、り、避難、訓練、と、い、う、こ、と、を、防火、対象、物、に、つ、き、は
、防火、管理、者、が、自主、的、に、避難、訓練、を、行、な、す、ゆ、け、い、

は、ほ、り、な、い、と、い、う、消防、法、の、八、条、に、お、き、く、業務、が、あ、る
ゆ、け、る、こ、う、い、ま、す、。従、い、子、と、お、し、カ、の、週、と、い、う、そ
や、ろ、と、い、う、カ、の、ゆ、き、あ、る、こ、う、い、ま、す、。、
指、定、さ、し、て、あ、る、カ、の、に、つ、き、は、防火、管理、者、が、当、然、と、
法的、に、訓練、し、な、け、い、は、ほ、り、な、い、と、い、う、こ、と、に、な、る、お、
り、ま、す、。、
と、い、う、は、、消防、管理、者、が、お、し、カ、に、指、導、を、あ、お、さ、し、
と、い、う、は、、ゆ、き、あ、る、カ、の、ゆ、き、あ、る、こ、う、い、ま、す、。、
と、い、う、は、形、を、指、定、し、た、お、き、ま、す、も、行、な、す、こ、う、い、ま、す、。、
、お、し、カ、の、カ、の、方、か、り、ゆ、き、あ、る、こ、う、い、ま、す、。、
は、ほ、り、の、ゆ、き、あ、る、こ、う、い、ま、す、。、本、来、的、に、は、さ、う、い、う、形、を、
や、さ、い、く、カ、の、ゆ、き、あ、る、ゆ、け、る、こ、う、い、ま、す、。、一、応、その、他、の
に、事、と、い、い、た、こ、う、い、ま、す、は、取、手、の、予、防、運動、に、入、る、お、だ、た、と、
思、い、ま、す、。、
、危険、物、関係、の、説明、会、を、開催、し、な、す、こ、う、い、ま、す、。、
、ゆ、き、あ、る、カ、の、ア、ド、ン、事業、関係、者、に、お、き、ま、す、も、法律、
改正、が、あ、り、ま、し、た、の、で、要、請、し、ま、す、。、お、し、カ、の、説、明、を
した、こ、と、も、こ、う、い、ま、す、。、ゆ、き、あ、る、カ、の、テ、ル、の、説、明、の

下
子
子
子
子
子
子

仁不尋小
下口子
防法

新書に漢
子二卷と云

女子之通樂器者
一、鋼琴
二、小提琴
三、大提琴
四、長笛
五、單簧管
六、雙簧管
七、薩克斯
八、號角
九、銅管
十、打擊樂器

非滿寧宜一子孫

[illegible]

西の七人の早稲田

二下
子
の
子
少
要
注
心
所
及

長の方のうは是はこめにかゝるうか、

西三ノ二ハナ高層住宅

抑に必要のものに
シ
＜

りといふ二
登サを
後けろ
おろす

福生町議會

その点にフツツと願ひ下す。

有防長風間兼備君

奥の山に
高層住宅の
建設計画

下の一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

三ノ下、
二ノ上、
一ノ下、

子
百
一
の
六
十
二
下
三
九
八
五
七
四
六

子
三
一
同
一
并
下
以
不
二
五
子

學務部

候
討
之
あり
要

下巻の二と三

設あふり子福難設備筆に、ふくぬり

心
田
、
避
難
設
備
に
ア
ッ
ト
は
不
足

執行会の中に
学校等の避難

子に安全条の

予、
カ、
い
学校の四階以上は
教室

福生町議会

下の子の客サマ下体了解し

一ツ
之に
カ番
松
花
平
九
郎
居
り

(五番 杉本平九郎君登壇)

九点ほど質問する予定でしたが、
 先に質問は譲渡
 の質問のダブル点があり、
 まるまる四ヶ所省きたいと思ひ
 ます。

その中心は都市計画、二は示に關議員の市長
に實地シテありましたの、二は酒井にヤミに下
たい。それかう道路專有村、それかう区画整理
と道路、四番目に示知理の都と市の三々摩
格差、それかう福生市のい、私にその生道道路
といふありすか、二はも森田議員が實地シテあ
りすの、酒井にお願いした。福生は下さく発展する過
實地に入る前に、福生は下さく発展する過
程の中で、我員が下課長、候長、理事者側より
ソコの方の努力で発展してあることを私は感謝する
。私はもう一歩二を勝つかぶとの體をせめる
とソコまで、是非は長と筆頭にして我員の方々に
もう一歩ふんばり下り、より以上の福生は

福生町議會

建設するニと冒頭にお願いして示す。
 その本論に入り。新都市計画という
 のは二府の土地あり販手国合を通過して六月
 一日から施行されるというニとあります。この福
 生財を中心にして既存の地をいさへし、
 しめるようすが、母之に二セテ十手計画でやる
 と、それに好む百億の金がかかる。それを六
 十億を国で持ち、あとの四十億をおつとする
 ような話をして承る。二のよりはいさゝか三
 万の金でもつてよい。全財政予算を組んで
 いるにもかかわらず、二のより大なる新都市計
 画といふのは実施されたときにはおそれる力と
 いうやうなわけがある。二のより新都市計画
 あり。二のよめくもとうとう新都市計画
 者といふものか本当に国のため、地のために
 なるかと、ソノ二とにもなるのか、二のよめく
 実施は必ずしも

は二府知のとおり、人頭割りで五十四、七つとある。
そつと格差を私にちよはに任んである方はい
ふよりけれども、福生は財政等の問題をほか
々理ににくい、無料にするこはぐさば、しかし
ほかう前にかちよいる方かたぐさんいるので、
ニクイ格差をほんとかの改善を説明をいした
たきたいといふことか、私の本旨をいす。
長とも是非とも格差をあつていにもほりな
私にちよはそつと格差を早くなくすといふ努力はし
てありす。実際には、民も前よりあり二
十三区は無料である、私にちよはとらるるといふ矛盾か
ある、この辺の市長の理解と今後市長の理解の
ほどをいすに解決をいすのか、市長の施政方針
にもありす。たいけいも、説明を願いたいといふこと
でござります。

最後、さつと市長の施政方針を述べ、森

田議員の質問が、さつと一府の説明を聞くとありす。
私の考えは、一府の通つた道路、いかに
すすほり、下は道路は完備したふに、私は
考へてありす。しかし、はかりつた横道に入る
とほか、困難をきたさる。銀座通りの
横に入るほか、困難は道が広くさんあるし
近所の人たちは下変に思ふ。またさつともい
へば、質問が、したに、商店街の発展のため
には自動車の駐車場をけつて、二れは、さ
しくも、さつともいふほり、はり、はり、はり、はり、
道路の方を、さつともいふほり、はり、はり、はり、
に道路が悪く、さつともいふほり、はり、はり、はり、
さつともいふほり、はり、はり、はり、はり、はり、
と、ほり、はり、はり、はり、はり、はり、はり、
力、さつともいふほり、はり、はり、はり、はり、
のか、さつともいふほり、はり、はり、はり、はり、

手度中には是非ともあの線は完成させていたと
下しと思ひます。本年度中に羽村より一徹道工
する予定であるわけでございます。百おとの間
二不便をおかけいたしました点につきましても
砂利であらうござります。早くよくように
と思ひます。監督所したい

つぎに示す理です。四十四年度より区役所
下にほるといふのは新聞発表でございまして、その
ウラミ多摩におきましてもたんに解者といふ
といふようは新聞報道でございまして、二の点に
つきましても都のおかり解らぬ話と聞かされて
人の心止むことは出来ません。新聞所上を
めたばかりでございまして、今の現状といたしまし
まは福生まで直下けとすることを現状といたしまし
能くございまして、都の考之がたんに三多摩
におきましてもいふお話しでございまして、それと
福生

く早くやらうといたすようにお願いするつもり
を得たいといふふうに思ひます。また、

板道路の今後の対策ですが、ただいま重点
的に通学道、必要度によりまして、また、
つくるわけをございまして、また、
以上は大体終ると思ひます。また、
高い道をございまして、また、
うはぐわけをございまして、また、
と、この終りから、また、
います。

面軍でございまして、また、

。鎌倉田村臣君、五番、松本平九郎君、
。五番、松本平九郎君、

解はいたした。とうとう、また、
にもあつたように、また、
ニと希望した。また、